

## 沖縄振興特別推進市町村交付金とは

沖縄振興特別推進市町村交付金は、沖縄振興に資する事業を市町村が主体的な選択に基づいて、市町村の実情に即した的確かつ効果的な事業を実施することができる交付金として平成24年度に創設されました。

同交付金の創設により、全国一律の制度・施策では十分に解決できない沖縄の特殊性に基因する課題解決に向けた事業を実施することが可能となりました。

これまで沖縄21世紀ビジョン基本計画に基づき、渡嘉敷村において地域の課題解決に向けた様々な事業が実施されてきたところです。

この度、渡嘉敷村における、これまで実施してきた事業の一部を紹介する取組がなされることとなりましたので、ここに紹介ページをご案内させていただきます。

# ソフト交付金の事業例【渡嘉敷村】

## 渡嘉敷村保育所事業

- 幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる保育所を整備した。
- 総事業費:2.8億円(国費:2.2億円)  
※26~28年度
- 28年4月 供用開始



## 渡嘉敷村救急対応整備事業

- 渡嘉敷村は年間10万人余りの観光客が訪れており、観光産業が村の基幹産業となっている。安心安全な観光客受入体制を確保するために、公共施設へAEDの設置と救急車を整備。
- 25年度:0.15億円(国費:0.12億円)

